

大阪大学総合学術博物館特別展

The Microscopic World
of the Body

DOEFF

からだ

アートな体躯

顕微鏡画像が映し出す阪大
医学研究のフロンティア

大阪大学大学院医学系研究科の広報誌『DOEFF（ドゥーフ）』。
その表紙と巻頭を飾る研究画像の“ミクロな美”。

2026年

4 / 27 (月) → 7 / 11 (土)

マウスのES細胞から作製した血液細胞

10:30～17:00（入場は16時30分まで） 入場無料 ※日曜・祝日は休館日

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階多目的室

主催：大阪大学ミュージアム・リンクス（大阪大学総合学術博物館、大阪大学適塾記念センター、大阪大学アーカイブズ）
共催：大阪大学大学院医学系研究科・医学部、大阪大学岸本記念医学史料館

DOEFF からだ アートな体躯

The Microscopic World of the Body

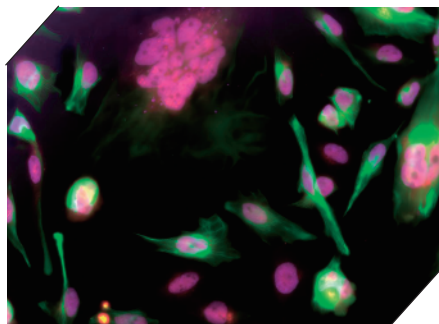
顕微鏡画像が映し出す 阪大医学研究のフロンティア

大阪大学大学院医学系研究科の広報誌『DOEFF（ドゥーフ）』。

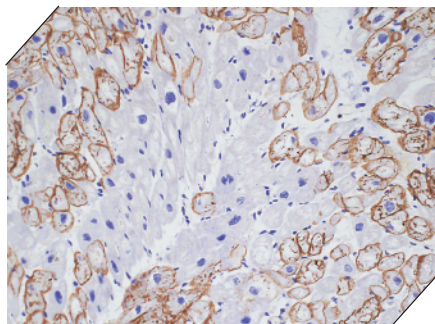
ヒトやマウスの顕微鏡画像を効果的に使った表紙と巻頭記事「アートな体躯(からだ)」が、このたび誌面を飛び出して、特別展として新たな装いで登場しました。

文字どおり“アート”として提示されたこれらの作品は、ときには大自然の絶景、ときにはアヴァンギャルドな絵画のように、私たちの想像力を刺激します。

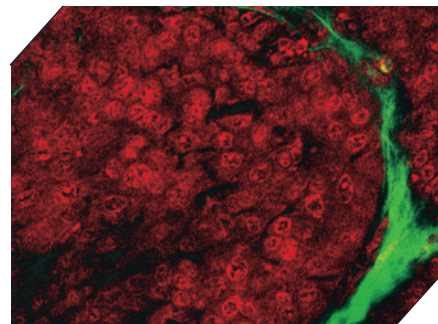
驚きに満ちた“ミクロのアート”を通じて、本研究科が切り拓く医学の最前線をどうぞお楽しみください。



アストロサイトと
インフルエンザウイルスタンパク質



重症心不全に至った
筋ジストロフィー症例での心筋組織



子宮頸がん組織

展示構成

■「宇宙」「海」「鉱石」「地底」「森」
—— カテゴリー別のパネル展示

■ 関連映像（動画）の投影

■ 最新の研究成果の実物展示
(iPS細胞由来の軟骨組織など)

大阪大学大学院医学系研究科

生命科学、特にヒト生命現象を解明する研究に挑戦し続けています。大阪大学医学部附属病院と密接に連携しながら、基礎的な研究の積み重ねを病気の診断や治療に発展させる「トランスレーショナル研究」にも注力。多くの成果が臨床に応用されています。



DOEFF（ドゥーフ）とは...

大阪大学医学部の精神的源流である緒方洪庵の「適塾」で、塾生たちに親しまれた蘭和辞典の通称です。

ミュージアムレクチャー

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室
参加費：無料
定 員：40名（事前申込不要、先着順）

展示紹介
Lecture
01

2026年 5/1 (金) 11:00~12:00

もっと知りたい！ 阪大医学

—— 展示アートの背景に触れてみよう ——

野口 悦（大阪大学大学院医学系研究科 医学史料室 特任助教）

研究紹介
Lecture
02

2026年 6/6 (土) 11:00~12:30

『見て、わかる、治す』未来の医療へ

—— 生体イメージングが切り拓く可能性 ——

石井 優（大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学 教授）

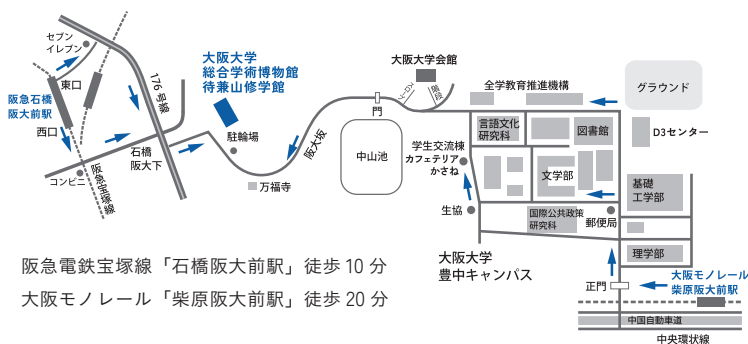


大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

TEL：06-6850-6284（月～土／10:30～14:30）

URL：https://www.museum.osaka-u.ac.jp/



阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」徒歩10分
大阪モノレール「柴原阪大前駅」徒歩20分